

Medical Technology News

臨床検査室新聞

LOOK



心のう液について

心臓を包む膜を心膜といいます。心外膜と壁側心膜の2層でできています。この間を心膜腔と言い正常でもごく少量の心のう液(20~50ml)が貯留しており、両側心膜の摩擦を防ぎ心臓が円滑に動くように保っています。エコーで見ると、正常では収縮期のみわずかなエコーフリースペース(液体成分が満たされた腔)を認めます。心膜炎による浸出液や心不全などの漏出液、外傷などによる血液の貯留により正常以上の心のう液が貯留した病態を心のう液貯留といいます(下の写真)。少量だと左心室後方のエコーフリースペース、中等量(200~500ml)だと左心室前方にもエコーフリースペースが現れ、大量(500ml~)では心臓が振り子のように動く運動が見られるようになります。



心のう液
心外膜
壁側心膜
左心室

コレステロールを下げる食物繊維



- 【①ふきキムチ】
○ふきは5cmに切り、キムチの素・醤油少々で漬ける。
- 【②ふきのめんつゆ和】
○ふきは5mmの斜めに切る。
- 人参・生生姜は千切りにする。
- 枝豆は、皮から外す。
- 希釈しためんつゆと和える。
- 【③ふきの信田巻】
○小揚げを湯通しし開き、ふき・人参を巻き、かんぴょうで結ぶ(つまようじを使用してもよい)。
- 醤油、みりん等で煮る(おでんの素でも大丈夫)。
- 【④ふきの肉詰】
○みじん切りにした人参・玉ねぎ、鳥挽肉、卵、味噌、塩、コショウを混ぜる。
- 太めのふきの筒に、具を詰め、醤油・酒等で煮る。
- 【⑤ふきとホタテの佃煮】
○小口切りにしたふきとペーパーホタテを醤油、酒、砂糖、みりん、水飴で煮詰める。
- 【⑥ふきの味噌漬け】
○ふきは15cmに切り、味噌、みりん、酒で和え1日以上漬ける。(南蛮をかけても良い)

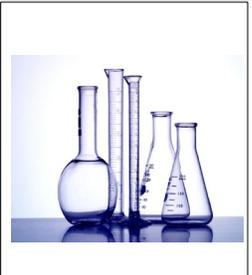
脂質異常症の診断基準 (空腹時採血)	
高LDLコレステロール血症	LDLコレステロール $\geq 140\text{mg/dL}$
低HDLコレステロール血症	HDLコレステロール $< 40\text{mg/dL}$
高トリグリセライド血症	トリグリセライド $\geq 150\text{mg/dL}$

(動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007年版より引用)

管理栄養係とコラボ

コレステロールは生命維持(細胞膜・胆汁・ビタミンD・ホルモン等の材料)に必要なものですが、高値になると動脈硬化が進み、脳梗塞、心筋梗塞など血管系の病気が起きやすくなります。今回は栄養係の協力を頂き、食物繊維に焦点をあて「ふき料理」を特集しました。

2010年4月
第10号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



動脈血ガス分析とは

動脈血ガス分析では、酸素分圧(pO₂)、炭酸ガス分圧(pCO₂)、PH等を測定します。血液は弱アルカリ性(pH7.35~7.45)に保たれるように肺や腎臓で調節されています。pH7.35以下(血液が酸性に傾いた状態)をアシドーシスといい、pCO₂の上昇による呼吸性アシドーシス(吸器疾患、神経筋肉疾患、循環器疾患等)または血漿中重炭酸(HCO₃⁻)濃度が低下する代謝性アシドーシス(低アルブミン血症、尿毒症、敗血症等)があります。

ほと time

皆さんはドーナツ好きですか?
最近油で揚げない焼きドーナツがヘルシーで人気ですが、新しく生ドーナツというものが出てきます。冷凍して作られるようですが、実はまだ食べたことがありません。もう食べたよと言う方??
感想を是非聞かせてください!!



検査の基本

★血液ガス分析★
検体は、動脈より専用シリッジ(ヘパリン入り)を用いて採血します(シリッジは中央材料室にあります)。採血後は十分に混和します。混和が不十分の場合、検体が凝固しやすく測定ができない事がありますので、ご注意頂くようお願いいたします。次にシリッジ内の空気を除いてから蓋をします(空気の混入は異常値の原因になります)。
採血後は速やかに検査室に提出をお願いします!
尚、機械は手術室前室にも設置してありますので、ご不明の点は検査室担当者(第2係)にお問い合わせ下さい。

編集後記

日本気象協会の3月31日発表により、函館市の桜の開花日は5月3日、満開日は7日だそうです。連休中がちょうど見頃でしょうか。八雲町にも少しずつ春が近づいてきているようですが、朝晩はまだ寒い日が続きます。春宵一刻値千金の味わいを感じるのには今しばらくお預けというところでしょうか...